



心不全の緩和医療

息が苦しい、体がむく

むといった症状の原因が心臓にある場合を、「心不全」の状態といいます。心臓には血液を全身に送り出すポンプの役割があるのですが、心不全とは、それが十分機能していない状態を指します。



松原 清二 医師

在宅療養支援診療所「まつばらホームクリニック」院長
総合内科専門医・循環器内科医
・日本循環器学会専門医
・日本内科学会認定医
・認知症サポート医

多くの場合は改善しますが、その後何度か症状が悪化を繰り返し、そのたびに利尿剤や強心剤といった薬剤治療を行っていきます。症状を緩和するといった意味で

は、従来型の心不全管理としてきた心疾患の領域でも、心不全の患者さんが自宅でもより良い療養生活を送れるように、根本原因への治療と合わせて、緩和ケアを行います。皆さんには、緩和医療は病院だけでなく、在宅でもできることを知っていただきたいです。選択肢がぐっと広がるはずですよ。

「やっとこういう時代になってくれた」と一様に安堵した次第です。現在、当院は、この地域で最も多くのがん患者の終末期の緩和医療に関わっています。その経験を生かし、私自身が専門

☎ 042-439-1250

西東京市東町 4-14-18-2F

(訪問中のため不在が多い)

■電話対応：午前9:00～午後6:00

■定休日：土日（祝日は診療）

■訪問地域：西東京市、東久留米・新座・練馬の一部

まつばらホームクリニック

検索

※2018年4月、名称が「医療法人社団順慶会まつばらホームクリニック」に変わりました



↑ 診療相談は
こちらから